

浜の活力再生プラン

(第2期)

1 地域水産業再生委員会 浜プランID: 1102007

組織名	川内地区地域水産業再生委員会
代表者名	会長 今 進

再生委員会の 構成員	川内町漁業協同組合 青森県（下北地域県民局地域農林水産部むつ水産事務所） むつ市（水産振興課、川内庁舎）
オブザーバー	株式会社マック（潜水調査会社）

対象となる地域の範囲 及び漁業の種類	地 域：青森県むつ市川内町 漁業の種類：ホタテガイ養殖漁業（その他、アカガイ養殖 漁業、ナマコ雑桁網漁業、カレイ・ヒラメ刺 網漁業、籠漁業を兼業） 漁業者数：113名
-----------------------	---

2 地域の現状

(1) 関連する水産業を取り巻く現状等

むつ市川内地区は、青森県下北半島南西部に位置する漁業が基幹産業の地域であり、幅約80mの川内川を含む大小合わせて8本の河川からの栄養塩の供給により、良好な漁場が形成されている。

当地域の平成29年度の漁業生産金額は、過去最高となる17.9億円で、うちホタテガイは12.1億円、ナマコは5.1億円であり、この2魚種が全体の96%を占める。

この内、ホタテガイについては、成貝（加工・活貝向け）を主に生産しており、平成29年度は、輸出数量の拡大や国内での活貝の強い引き合いにより、単価が414円/kgと前年比29%増となった。今後も、より高品質なホタテガイの生産に努め、現行の販路を更に太いものにしたいと考えている。

しかし、当地域の漁業権漁場は、陸奥湾の奥部に位置し、水深も50m未満と浅いため、夏場の日射や津軽暖流水の影響が大きく関わることから、高水温によるホタテガイの大量へい死が発生し、平成4年、16年、23年には出荷数量が激減するという問題が起きている。

また、ナマコについては、平成12年度から加工向け大型サイズを主に出荷しており、水揚げ数量の40%で漁協自営の加工場で乾燥ナマコを製造し、製品重量で約3t/年を販売している。

乾燥ナマコは、国内の輸出業者を経由し香港の輸入業者へ輸出されるが、近年は、仕入れ価格（浜値）が高騰していることから、製品の販売業者とは、これまで以上の密な価格交渉による高値での取引に努めている。輸出入業者からは増産を求められているが、資源管理による安定生産を第一に考え、毎年実施するナマコ資源量調査のデータを基に年間の漁獲数量を制限している。

その一方で、平成29年には、県外の反社会勢力グループによる漁業権漁場内での約2億円分のナマコ密漁事件が発生し、県外の加工業者へ搬入する途中で逮捕されたが、本件は氷山の一角に過ぎず陸奥湾内の密漁被害は相当なものであると考えられる。

川内町漁協では、ナマコの密漁を防止するため近隣漁協と連携を取り、監視体制の強化に努めているが、経費が増大し漁協経営が圧迫されている。今後は、漁業法の見直しによる罰則強化等を訴え、関係機関と連携を図り、密漁撲滅に取り組むことが必要であると考えている。

また、当地区には以前、5軒の鮮魚販売店が存在していたが、店主の高齢化、後継者の不在等により現在は1軒となっている。そのため、交通手段を持たない高齢者は魚を買いにいけず、また若者は高価な魚よりも安価な肉を買い求めるため、魚離れは、一層強くなる傾向にある。今後は、近年の魚離れを解消すべく、川内町漁協がイベント等の開催によりホタテ

ガイ等の宣伝活動に取り組む必要性があるものとする。

(2) その他の関連する現状等

川内町漁協では、大型貝（成貝）の生産を主とし、養殖期間が長いことから、近隣漁協に比べて養殖籠への付着物が多く、養殖残渣の処理に苦慮していたため、平成28年に『むつ市ホタテガイ養殖残渣の堆肥化処理に関する研究会』が組織され、むつ市及び関係機関の指導の下、堆肥化の試験に取り組んだ。これにより、養殖残渣を活用した堆肥化の目途がついたことにより、漁協事業として養殖残渣の堆肥化に取り組むこととなり、市の協力を得て堆肥化設備の整備を進め、平成30年11月から、『ホタテガイ養殖残渣堆肥化ジオサイクル事業施設』が稼働を開始した。

当該事業は、近年、陸奥湾において問題となっている漁業者によるホタテガイ養殖残渣の不法投棄防止対策としても効果があるものと考えている。

3 活性化の取組方針

(1) 前期の浜の活力再生プランにかかる成果及び課題等

Blank box for reporting results and issues from the previous plan.

(2) 今期の浜の活力再生プランの基本方針

ナマコ漁業は、ホタテガイ漁業とのベストミックスによる漁業生産金額の増大が期待されるため、生育環境の整備、ホタテガイ養殖籠に付着する天然稚ナマコや人工種苗生産の放流等に取り組むことで、漁業所得の向上を目指す。

ホタテガイ養殖についても、第1期浜プランに引き続き、安定生産のため、(地独)水産総合研究所の指導の下、適正な収容枚数や連間隔についてルールを設定し、効果的な生産に努めるほか、春先の低水温や夏場の高水温にへい死被害を抑制するため、養殖施設の設置水深を調整するなど、養殖施設の管理を徹底する。

また、船底清掃、減速航行は燃油単価の状況には左右されつつも、コスト削減に効果があり、更には船体や機関への負担減にも繋がることから継続して実施する。

(3) 漁獲努力量の削減・維持及びその効果に関する担保措置

平成27年以前の桁網によるナマコの漁獲数量は年間1人あたり約1,000～1,300kgだったが、平成28年～29年はナマコの漁獲数量を年間1人あたり700kgに抑えるなど、漁協が一丸となってナマコ資源管理を行ってきた。

地まきホタテガイ及びナマコについては、青森県海面漁業調整規則による漁獲サイズ等の

制限に加え、漁協独自の漁獲サイズや漁獲期間及び漁獲海域の設定により、資源の維持管理に努める。また、平成20年度から実施している『ホタテ貝殻を活用したナマコ増殖場造成事業』は、稚ナマコの付着及び育成場所として効果を発揮しており、今後も関係機関の協力を得つつ、継続する考えである。

養殖ホタテガイは、持続的養殖生産確保第4条の規定に基づき、陸奥湾地区良質ホタテガイ安定生産推進漁場改造計画を作成し、養殖漁業者の生産の安定を図るため、計画内容を的確に履行するものとし、ホタテガイ養殖漁場環境の改善と陸奥湾におけるホタテガイの安定生産を図るために導入したTASC制度を推進して、ホタテガイの安定供給を目指す。

(4) 具体的な取組内容（毎年ごとに数値目標とともに記載）

1年目（平成31年度）「所得0%向上」

<p>漁業収入向上のための取組み</p>	<p>漁業者（全船51隻：113名）は、桁網によりナマコを年間1,000kg/人、千円/人の安定した漁獲を実施する。</p> <p>漁協は、ナマコ漁場造成、天然採苗、人工種苗生産に取り組むとともにホタテガイ出荷時に養殖籠に付着している稚ナマコを1万円/kgで漁業者から買い取って放流することとし、ナマコ資源増大に努める。また、アワビ稚貝やヒラメ稚魚の放流にも引き続き取り組み、さらに青森県に対し、青森県陸奥湾水産環境整備事業において行うナマコやカレイ類等の増殖場や魚礁漁場の整備促進を要請するとともに、漁業者に対し、ナマコの数量制限やカレイ類の全長制限などの資源管理の取組を遵守させ、水産資源の増大を図る。</p> <p>ホタテガイ養殖について、漁業者は安定生産のため、(地独)青森県産業技術センター水産総合研究所(以下「県水産総合研究所」)の指導の下、適正な収容枚数や連間隔(分散時1段当たり15枚以下、分散時50cm以上等)についてルールを設定して継続的な生産に努める。また、春先の低水温や夏場の高水温によるへい死被害を抑制するため、漁協と協力して定期的に水温を把握し、養殖施設の設置水深の調整等で養殖管理を徹底し、漁業収入の向上に努める。</p> <p>漁協は、『むつ市・川内町・脇野沢村3漁協協議会』を活用し、3漁協協同による販売戦略を策定するほか、むつ市主催のイベントにも参画し、むつ市が掲げる「むつ市のうまいは日本一！」のキャッチフレーズのもと、青森市など都市の量販店等の販売促進活動などによるさらなる販路拡大(宅配含む)と価格向上に努める。</p>
<p>漁業コスト削減のための取組</p>	<p>漁業者（全船51隻：113名）は、第1期浜プランより継続し、各船の船底、舵、プロペラ等を洗浄、研磨、塗装するとともに、航行中においては1ノットの減速航行することで燃料消費削減に取り組み、漁業コストの削減を図る。</p>
<p>活用する支援措置等</p>	<p>ナマコ資源増殖推進事業（むつ市）、水産環境整備事業（県）、省燃油活動推進事業（国）</p>

2年目（平成32年度）「所得0%向上」

<p>漁業収入向上のための取組</p>	<p>漁業者（全船51隻：113名）は、桁網によりナマコを年間1,000kg/人、千円/人の安定した漁獲を実施する。</p> <p>漁協は、ナマコ漁場造成、天然採苗、人工種苗生産に取り組むとともにホタテガイ出荷時に養殖籠に付着している稚ナマコを1万円/kgで漁業者から買い取って放流することとし、ナマコ資源増大に努める。また、アワビ稚貝やヒラメ稚魚の放流にも引き続き取り組み、さらに青森県に対し、青森県陸奥湾水産環境整備事業において行うナマコやカレイ類等の増殖場や魚礁漁場の整備促進を要請するとともに、漁業者に対し、ナマコの数量制限やカレイ類の全長制限などの資源管理の取組を遵守させ、水産資源の増大を図る。</p>
---------------------	---

	<p>ホタテガイ養殖について、漁業者は安定生産のため、県水産総合研究所の指導の下、適正な収容枚数や連間隔（分散時1段当たり15枚以下、分散時50cm以上等）についてルールを設定して継続的な生産に努める。また、春先の低水温や夏場の高水温によるへい死被害を抑制するため、漁協と協力して定期的に水温を把握し、養殖施設の設置水深の調整等で養殖管理を徹底し、漁業収入の向上に努める。</p> <p>漁協は、『むつ市・川内町・脇野沢村3漁協協議会』を活用し、3漁協協同による販売戦略を策定するほか、むつ市主催のイベントにも参画し、むつ市が掲げる「むつ市のうまいは日本一！」のキャッチフレーズのもと、青森市など都市の量販店等の販売促進活動などによるさらなる販路拡大（宅配含む）と価格向上に努める。</p>
漁業コスト削減のための取組	<p>漁業者（全船51隻：113名）は、第1期浜プランより継続し、各船の船底、舵、プロペラ等を洗浄、研磨、塗装するとともに航行中においては1ノットの減速航行することで燃料消費削減に取り組み、漁業コストの削減を図る。</p>
活用する支援措置等	<p>ナマコ資源増殖推進事業（むつ市）、水産環境整備事業（県）、省燃油活動推進事業（国）</p>

3年目（平成33年度）「所得0%向上」

漁業収入向上のための取組	<p>漁業者（全船51隻：113名）は、桁網によりナマコを年間1,000kg/人、千円/人の安定した漁獲を実施する。</p> <p>漁協は、ナマコ漁場造成、天然採苗、人工種苗生産に取り組みとともにホタテガイ出荷時に養殖籠に付着している稚ナマコを1万円/kgで漁業者から買い取って放流することとし、ナマコ資源増大に努める。また、アワビ稚貝やヒラメ稚魚の放流にも引き続き取り組み、さらに青森県に対し、青森県陸奥湾水産環境整備事業において行うナマコやカレイ類等の増殖場や魚礁漁場の整備促進を要請するとともに、漁業者に対し、ナマコの数量制限やカレイ類の全長制限などの資源管理の取組を遵守させ、水産資源の増大を図る。</p> <p>ホタテガイ養殖について、漁業者は安定生産のため、県水産総合研究所の指導の下、適正な収容枚数や連間隔（分散時1段当たり15枚以下、分散時50cm以上等）についてルールを設定して継続的な生産に努める。また、春先の低水温や夏場の高水温によるへい死被害を抑制するため、漁協と協力して定期的に水温を把握し、養殖施設の設置水深の調整等で養殖管理を徹底し、漁業収入の向上に努める。</p> <p>漁協は、『むつ市・川内町・脇野沢村3漁協協議会』を活用し、3漁協協同による販売戦略を策定するほか、むつ市主催のイベントにも参画し、むつ市が掲げる「むつ市のうまいは日本一！」のキャッチフレーズのもと、青森市など都市の量販店等の販売促進活動などによるさらなる販路拡大（宅配含む）と価格向上に努める。</p>
漁業コスト削減のための取組	<p>漁業者（全船51隻：113名）は、第1期浜プランより継続し、各船の船底、舵、プロペラ等を洗浄、研磨、塗装するとともに、航行中においては1ノットの減速航行することで燃料消費削減に取り組み、漁業コストの削減を図る。</p>
活用する支援措置等	<p>ナマコ資源増殖推進事業（むつ市）、水産環境整備事業（県）、省燃油活動推進事業（国）</p>

4年目（平成34年度）「所得5%向上」

漁業収入向上のための取組	<p>漁業者（全船51隻：113名）は、桁網によりナマコを年間1,080kg/人（基準年に対し80kg増）、千円/人（基準年に対</p>
--------------	--

	<p>し 千円増) の漁獲を実施し、基準年に対し5%以上の所得向上を図る。</p> <p>漁協は、ナマコ漁場造成、天然採苗、人工種苗生産に取り組むとともにホタテガイ出荷時に養殖籠に付着している稚ナマコを1万円/kgで漁業者から買い取って放流することとし、ナマコ資源増大に努める。また、アワビ稚貝やヒラメ稚魚の放流にも引き続き取り組み、さらに青森県に対し、青森県陸奥湾水産環境整備事業において行うナマコやカレイ類等の増殖場や魚礁漁場の整備促進を要請するとともに、漁業者に対し、ナマコの数量制限やカレイ類の全長制限などの資源管理の取組を遵守させ、水産資源の増大を図る。</p> <p>ホタテガイ養殖について、漁業者は安定生産のため、県水産総合研究所の指導の下、適正な収容枚数や連間隔(分散時1段当たり15枚以下、分散時50cm以上等)についてルールを設定して継続的な生産に努める。また、春先の低水温や夏場の高水温によるへい死被害を抑制するため、漁協と協力して定期的に水温を把握し、養殖施設の設置水深の調整等で養殖管理を徹底し、漁業収入の向上に努める。</p> <p>漁協は、『むつ市・川内町・脇野沢村3漁協協議会』を活用し、3漁協協同による販売戦略を策定するほか、むつ市主催のイベントにも参画し、むつ市が掲げる「むつ市のうまいは日本一！」のキャッチフレーズのもと、青森市など都市の量販店等の販売促進活動などによる販路拡大(宅配含む)と価格向上に努める。</p>
<p>漁業コスト削減のための取組</p>	<p>漁業者(全船51隻:113名)は、第1期浜プランより継続し、各船の船底、舵、プロペラ等を洗浄、研磨、塗装するとともに航行中においては1ノットの減速航行することで燃料消費削減に取り組み、漁業コストの削減を図る。</p>
<p>活用する支援措置等</p>	<p>ナマコ資源増殖推進事業(むつ市)、水産環境整備事業(県)、省燃油活動推進事業(国)</p>

5年目(平成35年度)「所得11%向上」

<p>漁業収入向上のための取組</p>	<p>漁業者(全船51隻:113名)は、桁網によりナマコを年間1,160kg/人(基準年に対し160kg増)、 千円/人(基準年に対し千円増)の漁獲を実施し、基準年に対し11%以上の所得向上を図る。</p> <p>漁協は、ナマコ漁場造成、天然採苗、人工種苗生産に取り組むとともにホタテガイ出荷時に養殖籠に付着している稚ナマコを1万円/kgで漁業者から買い取って放流することとし、ナマコ資源増大に努める。また、アワビ稚貝やヒラメ稚魚の放流にも引き続き取り組み、さらに青森県に対し、青森県陸奥湾水産環境整備事業において行うナマコやカレイ類等の増殖場や魚礁漁場の整備促進を要請するとともに、漁業者に対し、ナマコの数量制限やカレイ類の全長制限などの資源管理の取組を遵守させ、水産資源の増大を図る。</p> <p>ホタテガイ養殖について、漁業者は安定生産のため、県水産総合研究所の指導の下、適正な収容枚数や連間隔(分散時1段当たり15枚以下、分散時50cm以上等)についてルールを設定して継続的な生産に努める。また、春先の低水温や夏場の高水温によるへい死被害を抑制するため、漁協と協力して定期的に水温を把握し、養殖施設の設置水深の調整等で養殖管理を徹底し、漁業収入の向上に努める。</p> <p>漁協は、『むつ市・川内町・脇野沢村3漁協協議会』を活用し、3漁協</p>
---------------------	---

	協同による販売戦略を策定するほか、むつ市主催のイベントにも参画し、むつ市が掲げる「むつ市のうまいは日本一！」のキャッチフレーズのもと、青森市など都市の量販店等の販売促進活動などによるさらなる販路拡大（宅配含む）と価格向上に努める。
漁業コスト削減のための取組	漁業者（全船51隻：113名）は、第1期浜プランより継続し、各船の船底、舵、プロペラ等を洗浄、研磨、塗装するとともに航行中においては1ノットの減速航行することで燃料消費削減に取り組み、漁業コストの削減を図る。
活用する支援措置等	ナマコ資源増殖推進事業（むつ市）、水産環境整備事業（県）、省燃油活動推進事業（国）

(5) 関係機関との連携

株式会社マックによるナマコ漁場の調査等を基に、県（下北地域県民局農林水産部むつ水産事務所）及び市（水産振興課、川内庁舎）の指導を受け、漁業収入向上を図るために必要な対策等についての検討会議を開催する。

4 目標

(1) 所得目標

漁業所得の向上11%以上	基準年	平成23年度～29年度7中5平均 ： 漁業所得
	目標年	平成35年度 : 漁業所得

(2) 上記の算出方法及びその妥当性

漁業所得について、平成23年度～平成29年度の確定申告書を基礎として、漁協を通して申告書を提出している漁業者のデータで集計している。水揚等は漁協の業務報告書を引用している。詳細については別紙1及び2のとおり。

(3) 所得目標以外の成果目標

ナマコ桁網による漁獲数量	基準年	平成25年度～30年度平均 ： 漁獲数量 1,047 kg
	目標年	平成35年度 : 漁獲数量 1,160 kg

(4) 上記の算出方法及びその妥当性

漁獲数量について、平成25年度～平成29年度の漁業者一人当たりの平均漁獲数量・金額を基礎として31年度～35年度までの数値目標を設定した。詳細については別紙2のとおり。

5 関連施策

活用を予定している関連施策名とその内容及びプランとの関係性

事業名	事業内容及び浜の活力再生プランとの関係性
ナマコ資源増殖推進事業（むつ市）	・ナマコ増殖事業により、稚ナマコの生育環境を整備するなど、ナマコの増殖に努め漁業収入の向上を図る。
省燃油活動推進事業（国）	・燃油量の削減（減速航行、漁船船底清掃等による抵抗削減）
省エネ機器等導入推進事業（国）	・省エネ型エンジン及び漁具の導入によるコスト削減
水産環境整備事業（県）	・水産環境整備事業によって、増殖場や魚礁漁場を整備し、ナマコ及びカレイ類等の増殖、漁獲増加に努め漁業収入の向上を図る。